

令和 6 年 3 月 28 日

苫小牧市長
岩 倉 博 文 様

一般社団法人 ネットワーク苫小牧
会 長 中 村 こ ず え

令和 5 年度 要望書

平素は当会の活動に対しまして ご配慮ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当会は昨年6月の創立40周年を機に法人化移行となり、定款の目的に根差し、2つの新規事業を含め、心新たに年間活動計画に取り組んでまいりました。

1つ目の新規事業「フォーラムwith市議」は、市民対象のアンケート調査を重ね3年がかりで計画した事業で、当日は苫小牧市議会議員19名のご参加ご協力をいただきました。数ある課題の中から「苫小牧市議会に於ける女性議員割合や低下が進む投票率を上げる方策」などについて、市民と市議が一体となり忌憚のない意見交換を重ねました。もう1つの社会貢献応援表彰制度である「WAKO人応援プロジェクト」は何ごとに於いても「基本は人である」ことから、当会活動目的を基に選抜した『頑張る市民』を応援させていただき、互いを認め合う意義の高い人的ネットワーク構築を通し、人に優しい温かなまちづくりに寄与したいと考えた事業でございます。

どちらも昨年度提出の要望書に記載いたしました「苫小牧市のまちづくりの視点に【女性の定着】を図る」ことを目的の一つとして企画いたしました。

「女性の定着」は人口流出を防ぐとともに、職場や地域に定着することにより、女性が活躍する場面や機会を得る可能性が高くなります。それは女性の自立や地位向上に繋がります。「女性活躍」への大きな弾みになるものと考えております。

以上を踏まえ、下記事項について確認及び要望をさせていただきます。施策に反映していただけますよう謹んでお願い申し上げます。

記

I. 令和 4 年度に提出した要望内容の取り組み状況について

II. 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）」に関して

以 上

I. 令和4年度に提出した要望内容の取り組み状況について－1

◇ 令和4年度 I－1

「市の発信による良好な職場づくりや子育て環境の充実に取り組むこと」

1. 子育て環境の充実に関連して

- ・高い保育ニーズの現状を踏まえ次期計画に反映 <苫小牧民報 2024年2月21日>
- ・岩倉市長施政方針「重点施策」子育て世代に手厚い街とまこまいの実現
<苫小牧民報2024年2月22日>

上記2点より計画的且つ積極的な取り組み姿勢を理解いたしましたが、「各園に定員を超えて入れてもらうなどして」の記載が大変気になりましたので、以下に確認と要望を記載いたします。

■ 確認1：「こども未来戦略方針」に、令和6年度からの保育士配置基準改善が示されていますが、市内では基準を満たす保育士確保はできているのでしょうか？

◇ 令和4年度 I－3

「保育士、介護職等の専門職に従事する人材育成を推し進めること」

□ 要望1：『地元で学び地元で働く』は女性の定着に繋がります。令和3年度にも市の主導による養成校設置等を要望しております。上記 配置基準改善方針を含めて、改めて前向きな検討を要望いたします。

◇ 令和4年度 II－1－2)

「市の主導による市民への啓蒙活動について」

・介護福祉課担当者様より「もしもシート」の誕生から課題や今後の活用方針等をお聞きしました。要望した「市オリジナルのエンディングシート」と共有できる複数の項目があることを確認しました。

□ 要望2：現在は模索段階で、今後は町内会を中心として展開されていく方針とのことですが、自ら望むことを残しておく意識を醸成することは、若い世代から必要ですので、企業や学校、各団体等の全ての市民を対象とした取り組みを要望いたします。

◇ 令和4年度 II－3－2)・3)

「人生会議（ASP＝アドバンス・ケア・プランニング）の普及と活用について」

- ・別添の資料により取り組み状況を把握しました。 <資料－1・2・3>

□ 要望3：住み慣れた我が家で最期を迎えることができる医療・介護体制について施策を確認することができませんでした。通院が困難な人たちのための在宅医療を支えるために【かかりつけ医制度の充実】とともに、緊急時の往診ができるシステムの構築を早急に目指していただくことを要望いたします。

I. 令和4年度に提出した要望内容の取り組み状況についてー2

◇ 令和4年度 III

「市民活動センターのパープルライト点灯について」

・実現可能な期待感が高まっておりましたが、今年度の点灯は叶いませんでした。

□ 要望4：男女平等参画都市宣言を行っている我が市の【男女平等活動拠点】として位置付けられている施設でもあることから、来年度中の点灯を要望いたします。

II. 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）」に関して

令和6年4月施行の女性支援新法は、DV、貧困、性暴力、性的搾取、障害、精神疾患、外国籍などに起因する困難に苦しむ女性を支援するものとして期待される一方で課題も指摘されています。年々多様化、複雑化する女性の困難に対応するために、特に「女性相談支援員」の人的資源確保と民間団体との「協働」について対策を講じる必要があるとされています。

全国で活動されている「女性相談支援員」の取得資格を確認したところ、当会々員も有する資格が多々ありました。会のメンバーは、組織内で働きキャリアアップしてきた会員が多く、今後は何かの形で更なる社会貢献への道を模索したいと考えております。令和3年度に「苫小牧市地域女性活躍推進事業」の一端を担う機会をいただき、短い期間でしたが支援の重要性と課題も感じました。また継続事業の当会無料相談に於いても様々な反省課題があったため、来年度からは有資格者の会員が相談対応することにいたしました。

地域の特性により、今後はより細やかな市条例作成も検討課題になると推察されますが、現状把握と分析を行い、的確な方向性を目指していただきたいと思います。

□ 要望5：当会のような有資格者を有する民間団体の積極的活用を要望いたします。

会員 所有資格一覧表

保育士	3名	消費生活相談員	1名
社会福祉士	1名	家庭生活カウンセリング1級	1名
看護師	3名	国家資格キャリアコンサルタント	1名

◇ 添付資料について

<資料1> 在宅医療を考える多職種学習会

<資料2> APCの基本を学ぶセミナー

<資料3> 市民講演会「看取りとはなんなのか」

第3回

在宅医療を支える 多職種学習会

在宅医療グループ診療運営事業



地域で最期まで安心して暮らすために、看取りを見据えた食べる支援・生きる支援を必要としている方に、自分たちにできることは何かを学び、考え、取組みを地域で始めるための多職種連携学習会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2023年 12月19日(火) 18:30~20:15

開会挨拶

苫小牧市医師会 副会長 豊田 健一 先生

オンライン会場 入室 18:20~
受付 18:00~

テーマ

看取りの文化を苫小牧ではぐくむには

講師

講演

専門職に求められるいのちと向き合う姿勢 ～地域におけるACP多職種連携～

小金井ファミリークリニック 在宅診療部長

NPOくみさぽ 共同代表理事

大井 裕子 先生



大井 裕子 先生

座長

20:05~

講評、グラフィックレコーダーからの振り返り

対象

在宅医療・介護に関連する職種・事業所等

形式

ハイブリッド型セミナー
(会場 + zoomウェビナー)

会場

苫小牧市医師会館 3階講堂
(定員：会場 60名 + オンライン 500名)

主催

苫小牧市医師会
とまこまい医療介護連携センター

共催

苫小牧歯科医師会 苫小牧薬剤師会
苫小牧市

協力

北海道在宅医療推進支援センター

苫小牧市医師会
伊賀 勝康 先生



講評

北海道家庭医療学センター
理事長 草場 鉄周 先生



12/12
申込締切

事前申込が必要です お申込み方法は裏面をご確認ください

- ・本学習会は日本医師会生涯教育講座 CC4医師-患者関係とコミュニケーション1.5単位の取得を予定しています。裏面の注意事項をご確認ください。
- ・日本歯科医師会生涯研修の取得を予定しています。本会終了後、苫小牧歯科医師会の担当者より連絡があります。
- ・日本薬剤師研修センター認定研修対象です。裏面の注意事項をご確認ください。
- ・主任介護支援専門員更新研修にかかわる法定外研修に該当します。修了証が必要な方は申込時にご記入ください。

ACP の基本を学ぶ セミナー

対象 | 医療・介護従事者

参加無料

医療・介護従事者が、人生の最終段階に向かう患者の意思や自己決定に基づく適切な医療その他の支援等の提供を行うことができるよう、ACP (advance care planning、人生会議) の基本を理解し、現場への導入方法を学習します。

2023 年

10 月 7 日 土

14:30 - 16:30

ハイブリッド開催



- ☐ 当日 | リアルタイム配信を視聴する
- ☐ 後日 | オンデマンド配信を視聴する

視聴可能期間 2023 年 10 月 8 日 日 ~ 2024 年 3 月 15 日 金



TKP 札幌ビジネスセンター 赤れんが前
カンファレンスルーム 5A

札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5階 ※札幌駅より徒歩5分

ACP の基本

プログラム

1 講演

2 質疑応答

- ACP や意思決定支援の最近の話題
- ACP とは - 歴史を踏まえて -
- ACP に必要な意思決定支援方法 - SDM とは -
- ACP の具体的実践方法 など

講師 | 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長 三浦 久幸 氏

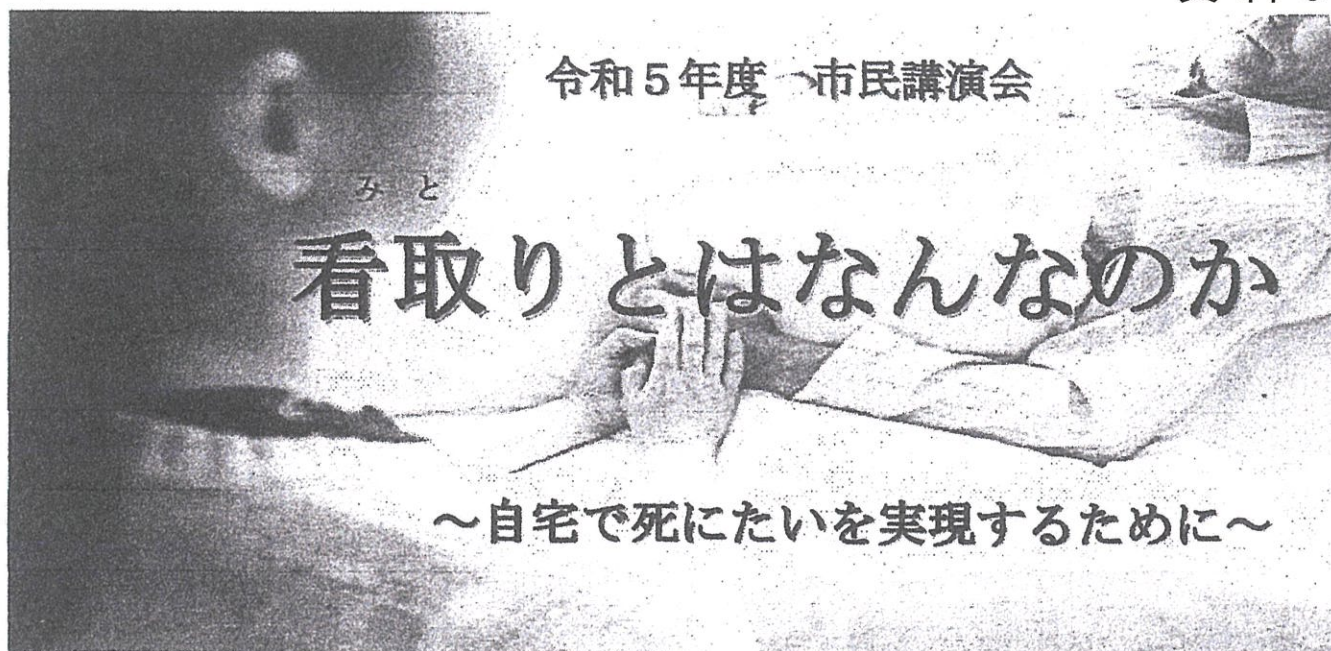
座長 | 社会医療法人恵和会西岡病院 内科部長 澤田 格 氏

申込方法 — 北海道在宅医療推進支援センター Web サイトよりお申込みください。詳しくは裏面へ

本研修は、北海道の主任介護支援専門員更新研修にかかわる法定外研修に該当します。
修了証が必要な方は、お申込み時にその旨ご回答ください。

注意事項

◎来場または当日のリアルタイム視聴で参加された場合のみ、修了証の発行対象となります。◎ファイル添付のあるメールを受信可能なメールアドレスでお申込みください。◎視聴用 URL は個人単位別の URL です。修了証が必要な方は、申込登録をしたメールアドレスに届いた視聴用 URL より視聴ください。



看取りのイメージ画像です。

令和5年 12月2日(土)

13:30～15:30 (受付 13:00～)

参加費
無料

苫小牧市民会館 小ホール

(苫小牧市旭町3丁目2番2号)

講演 (13:35～15:30)

『いのちに寄り添う』

～看取りを通しての生と死～

講師：観音寺 住職 臨床宗教師 米本 智昭 氏



講師略歴

高野山大学文学部密教学科卒業。2011年の東日本震災を機に臨床の場に宗教者が関わることの必要性を感じ、東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座臨床宗教師研修を修了する。2018年認定臨床宗教師となり、札幌南徳洲会病院に勤務(非常勤)、患者・家族・スタッフのケアにあたっている。

また、観音寺(白老町)住職のかたわら、宗派を超えた僧侶が社会的資源として繋がるという「てらつな」活動、オンラインによるこころの無料相談、様々な職種の市民が人生を語る場所「人生喫茶」などの運営や、札幌市内夜回り活動など、「僧侶は職業ではなく生き方」の体現を目指している。

主催：高齢者等の地域ケアを進める会

共催：苫小牧市

後援(予定)：北海道胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室、苫小牧市医師会、苫小牧市歯科医師会、苫小牧市薬剤師会、苫小牧市社会福祉協議会、苫小牧市町内会連合会苫小牧市民生委員児童委員協議会、苫小牧市老人クラブ連合会、北海道看護協会苫小牧支部、苫小牧ケアマネジャー連絡会、苫小牧地域包括支援センター連絡協議会、北海道医療ソーシャルワーカー協会、東胆振地区訪問看護連絡会、日田緩和ケア研究会、苫小牧市社会福祉施設連絡協議会、北海道老人保健施設協議会、北海道社会福祉士会日田地区支部、苫小牧市グループホーム連絡会、苫小牧市小規模多機能居宅介護事業所連絡協議会、北海道新聞苫小牧支社、苫小牧民報社 (順不同)

申込み不要

定員200名

問い合わせ

苫小牧市

西地域包括支援セン

ター 池崎

☎61-7600

※会場駐車場は混雑が予想されます、公共交通機関が乗り合わせでお願いします。

ネットワーク Civic action キーワード

= 一般社団法人ネットワーク若小牧活動方針 =

定款
目的

性差を超えて人権を尊重し認め合い
誰もが個性と能力を発揮できる
社会の実現を目指す

SDGs
活動

女性
活躍

人材
育成

活動3つのキーワード

令和4年度要望書の
基本となった考え方

働き続けたいまち

- ・希望すれば正規雇用される
- ・家事負担が大きい
- ・管理職になった時の働き方イメージを持てる

住み続けたいまち

- ・終活支援が充実している
- ・自宅で最期を迎えられる医療・介護体制が整っている

子育てしやすいまち

- ・子どもの預け先が豊富にある
- ・子育ての息抜きの場がある
- ・貧困家庭への防止策が施策としてある

自立して自分らしく輝いて 生きられる社会

とまこまい 私たちのまち